

「サマーレビュー」の結果について

現在、高岡市では、目まぐるしく変化する社会経済情勢等に的確に対応しながら、持続可能な財政運営を可能とするため、事業の性質等に応じた体制で、その内容を点検する「全事業総点検プロジェクト」に取り組んでいます。

このうち、将来に向けて政策的な判断が必要な事業や重点的な事業については、通常の前編成よりも早い時期に、「サマーレビュー」として市長と各担当部課長によるヒアリングを実施し、政策実現の方向性や手法、課題等について全庁的な協議を行ってきました。

その中では、課題への当面の対応策を協議するばかりでなく、関連施策を含めた政策テーマの総合的な推進の方向性について指示するとともに、幾つかの新たなテーマについても検討を指示しました。

今回のレビュー結果を、議会をはじめ市民の皆様にお知らせし、広くご意見をお聞きしながら、必要なテーマについては改めてレビュー（政策協議）を行うなど、更に内容を詰め、新年度予算の中で具体的な取り組み内容を固めていくこととしています。

1 サマーレビュー結果

主な協議結果及び政策推進の方向性（協議結果は別紙のとおり（48 テーマ・128 事業））

(1) 新幹線開業を見据えた都市基盤整備

・新幹線開業に向けた道路整備

新幹線の開業効果を最大限に活かすため、新幹線駅周辺から高速自動車道へのアクセス道路を中心に、新幹線開業に向けたタイムスケジュールとリンクした戦略的な道路網の整備進捗を図る。

・北陸新幹線新駅周辺の整備

北陸新幹線の金沢までの開業に伴い、高岡の利用圏域となる飛越能 86 万人の玄関口にふさわしい都市機能を備えた新幹線駅を目指し、新駅駅舎 1 階公共スペースの実施設計、同駅周辺土地区画整理事業に係る仮換地指定、城端線新駅駅舎の実施設計等に取り組むとともに、駐車場の施設規模、事業手法等について、方針を定める。

また、新幹線車両への地場製品の活用を働きかけるなど、新幹線効果を活かした高岡の P R 戦略を展開する。

- ・高岡駅周辺整備

新幹線駅との有機的な連携により、広域的な都市機能を一層高めるため、南北自由通路・橋上駅舎の整備、人工デッキ・新ステーションビル・駅前広場等の実施設計等に取り組む。

また、中心市街地と連結したにぎわい創出に向け、地下街閉鎖中の末広町等への導線確保と今後の地下街の整備ビジョンについて、関係者との協議を進める。

〈政策推進の方向性〉

新幹線の開業により広域的な拠点都市として生まれ変わることを大きな契機と捉え、新幹線駅利用者の増加、誘客を狙った広域観光施策等も考慮した都市基盤整備を進める。

これらと連携して高岡を訪れた方々を高岡駅周辺、中心市街地商店街、山町筋、金屋町といった本市の顔ともいえる既成市街地へ呼び込み、まちなかのにぎわいを再生する仕掛けを演出するなど、ストーリー性のあるまちづくりのビジョンを打ち出し、平成 26 年度の新幹線開業までに新幹線効果を最大限に活かす態勢を整える。

(2) 観光・交流・にぎわい創出

- ・広域観光施策

広域的な越中・飛騨観光圏事業の展開との相乗効果を睨んで、戦略的な観光施策を展開する。地域振興につながる観光施策や広域的な誘客施策など、市の観光施策を体系化し、雑誌、電子メディア等による効果的な宣伝活動等を進める。

- ・中心市街地活性化に向けた戦略

中心市街地の回遊性を高め、観光客等のまちなかへの誘客を中心市街地の活気に結びつけるため、中心市街地における空き店舗対策の拡充やイベントの充実を図るとともに、新たな中心市街地活性化基本計画（H24～）の策定に取り組む。

- ・コンベンション開催支援

広域交流の創出、観光産業の育成の観点から、全国的な企業や全国組織の本市関係者等に対し、広く制度を周知するとともに、コンベンション会場・宿泊施設・視察ルートを設定にしたプランを提案するなど、サービスの充実を図りながら全国大会等の高岡市開催を働きかける。

- ・福岡中央地区まちづくり

土地区画整理事業を契機に、都市基盤の整備を進め、まちのにぎわいを再生するため、都市再生整備計画に基づく事業の進捗を図り、自然・歴史・環境など地域の特色を生かしたまちづくりに取り組む。

《政策推進の方向性》

新幹線の開業を契機に、人を呼び込む施策・交流を広げる施策・にぎわいを生む施策を一体のものと捉え、観光交流産業を高岡の産業の柱の一つに育て上げるという明確なビジョンを持って進める。

また、県西部を包括する越中・飛騨観光圏や飛越能地域など、高岡の利用圏域全体の期待に応えるため、新幹線開業に向けた都市基盤整備の進捗状況等とリンクした広域的な観光連携施策を展開し、各地の地域資源をつないだ新しい観光の魅力を創り出す仕掛けを構築する。

(3) 歴史と文化

・歴史都市に向けた取り組み

今年度中に歴史的風致維持向上計画を策定し国の認定を受け、平成 23 年度は、計画に基づく歴史的風致を活かした関連事業を進める。

併せて、金屋町の伝建地区指定に向けた取り組みや高岡城跡の国指定史跡を目指した調査などに取り組み、高岡の価値を一段と高めることを通じて、歴史都市としてのまちづくりを進める。

・御車山会館の建設

展示内容や整備手法、財源確保等の課題について、関係者の協力を得ながら検討を進め、平成 23 年度に基本設計を策定する。

平成の御車山の製作については、市民全体の取り組みとして進められることを目指す。

・文化財修理技術の向上と産業化

高岡のものづくりの技と心を活かした新産業分野の創出を目指し、文化財修理技術の 1 億円産業化を当面の目標に掲げ、文化財修理技術のレベルの高さを県外へ PR する。また、高岡地域文化財等修理協会の組織強化を図る。

《政策推進の方向性》

開町 400 年で再認識された歴史・文化資産を、更に磨き、市民が一体となって繋ぎ、組み合わせることで歴史都市「高岡」のイメージを確立し、総合的・効果的に発信できる施策体系を構築する。

市民生活の中に溶け込んでいる高岡らしい伝統文化を継承・発展させるとともに、新たな文化の創造に繋がる活動を支援する環境を整え、市民文化の質を一層高めていく。

(4) ものづくり

・新産業創造戦略

新産業創造プラットフォームの一層の充実を図り、企業訪問や関係機関との連携、大学や富山県ものづくり研究開発センター（仮称）の利用などにより、市内企業の新分野進出・新事業展開を推進する。

・企業誘致戦略

企業誘致庁内推進体制を強化し、企業誘致戦略に沿った積極的な企業訪問、説明会等の開催・出展、情報収集に努めるとともに、これらを今年度中に策定する産業振興ビジョンの中でも明確に打ち出しながら、成長産業をはじめとする企業誘致の推進を図る。

・農業戦略

水稲中心の農業施策との整合に配慮しながら、麦・大豆等の戦略作物及び園芸作物、地域特産物の作付けの拡大を進め、特産物やその加工製品について、食事としての提供方法やシチュエーションまでをトータルで提案するなど、「食」のブランド化に向けた支援を行う。

《政策推進の方向性》

産業構造の転換を視野に入れながら、新産業創造プラットフォーム等による地域産業の支援に加え、地域企業の成長戦略やイノベーションを強力にバックアップしていく。

また、新たな市場開拓を誘導する取り組みや、環境、バイオ、医薬品、施設園芸といった先端産業分野の企業誘致を推進する施策を展開する。

(5) 安全・安心

・公共交通全体の取り組み方針

新幹線開業を見据えた二次交通網のあり方を念頭において、路線バス網の見直しや軌道系交通のあり方等について、庁内外の関係者によるワーキングチームを設置する。

また、住民主導型の地域バスの導入を図るとともに、地域の足として多様な地域公共交通のあり方の検討を進める。

・地域総合福祉のあり方

子育て支援、高齢者支援といった各福祉分野において、地域と連携しながら、より市民の生活スタイルにそったサービスを提供できるシステムの構築を目指す。

また、「認知症高齢者見守りネットワーク」等を参考に、地域の人材等をコーディネートしながら地域の課題を解決する地域福祉ネットワークづくりを目指す。

・子育て支援ネットワークの充実

子供・保護者の生活パターンを踏まえた高岡らしい子育て支援ネットワークの構築を図る。特に、福祉施策、教育施策といった区分にとらわれず、放課後をはじめ、1日を通じて子どもたちの暮らしをサポートするため、福祉部門と教育部門が連携した施策融合による子育て支援を実現する。

《政策推進の方向性》

多様化が進んでいる市民一人ひとりの安全・安心の価値観やニーズに的確に対応していくため、施策分野にとらわれず、常に市民の目線に立って、市民と同じ方向を見ながら物事を考え、取り組む姿勢で施策連携、組織連携のあり方について検討を進める。

また、連携が求められる施策分野について、行政的な理念や制度に隔たりがある場合には、これらを補完するための地域活動やそのコーディネート機能を促進、支援することを通じて、地域において包括的、総合的に安全・安心を確保するシステムの構築を目指す。

2 サマーレビュー結果を踏まえた新政策テーマ

新年度着手を念頭に置いて各関係部局に検討を指示した政策テーマ（4テーマ）

(1) 新しい文化の創造に向けた文化・教育施設のあり方の検討

市民が主役となって新たな文化を創造する「高岡新世紀」のまちづくりを進める。そのためには、新文化創造の場となるシンボリック「空間」や「エリア」の構想が不可欠である。

市民会館、博物館、公民館といった本市の文化・教育施設について、その機能区分（文化創造機能、地域振興機能等）とそれぞれの将来的なあり方について、方向付けを行う。その上で、老朽化、狭隘化等の状況も勘案し、今後の再整備や改修に向けた総合的な計画を取りまとめることを通じて、将来に向けた夢のある施策の検討を進める。

(2) 地域福祉「高岡モデル」の検討

高岡には、強い地域連帯が息づいており、このような高岡の特色を活かして、地域福祉の「高岡モデル」の構築を検討する。

地域の市民団体等が、一定の地域や個人のニーズの状況に即した公共的サービスを提供している一方で、制度的な福祉サービスは、公平性などの観点から、画一的な基準によって提供されがちである。今後、行政と地域が一層連携することで、これらのサービスをできる限り市民一人ひとりのニーズに適合する形で組み合わせ、包括的、総合的に提供する仕組みを構築することが必要である。

(3) 市民協働プラットフォームの構築

市内で活動する市民団体等の情報等を一元化し、広く市民に周知するとともに、これらの団体が情報を共有し、連携を図るための場として、市民協働プラットフォームを構築する。

このプラットフォームにおいては、市民団体等の各活動分野やテーマにおけるセンター的機能(中心的役割)を果たす拠点組織の育成やNPOなどの市民団体による公共的サービスの提供をコーディネートすることについて、行政がパイプ役として積極的に関わる。これらを通じて協働の裾野を広げ、地域の課題を地域で解決する環境を整える。

(4) クラフトによる「まちなか」振興施策

歴史的な街並みを結ぶ新たな散策ルート(プロムナード)を開発し、市民や観光客の「まちなか」回遊性を高める。その散策ルートには、「ものづくり」の技を体験できるオープン工房やクラフトショップを開設し、街並みや街角にクラフトアートを効果的に配置するなど、「クラフト」のプロムナードを演出する。

これらを通じて、「クラフト」をキーワードとした歴史文化のまちづくり施策を展開する。

別紙 サマーレビュー協議結果

	レビューテーマ	事業数	事業名	協議事項	協議結果
1	重点事業国・県要望について	1	国・県重点要望事業費	要望のあり方について	国・県の動向を把握しながら、効果的な要望を行う 地域活動を通じて得られた成果や課題に基づく地域提案 型の要望を行う
2	「食」による高岡の発信	1	「食」による高岡発信事業費	「食」の取り組みの視点、位置づけ の明確化	市のイメージアップと産業振興を連携させて事業推進を 図る
3	広域行政の対応・都市間交流の あり方	2	広域行政費、都市間交流事業費	都市間交流の今後の取り組みについ て	道路、鉄道等地理的な結びつきや万葉、コロッケ、防災 等共通するテーマ・分野による都市間交流をさらに深 め、市民レベルでの相互理解、交流につなげていく 行政としても職員の相互派遣を検討する 三大都市圏、特に東海北陸自動車道でつながった中京圏 との交流を深める
4	国際交流（錦州市記念事業）	1	錦州市親善交流事業費	姉妹・友好都市との今後の交流につ いて	これまでの交流活動を再確認し、幅広い分野での交流を 促進する
5	大学・地域連携のあり方	1	大学・地域連携推進事業費	今後の取り組みについて	富山大学芸術文化学部とは、これまでの連携の成果を踏 まえ、産学官の連携による新商品開発など事業化に向け た取り組みを進めるとともに、新たなテーマでの連携を 進める 高岡法科大学との包括的連携を進める
6	I C Tを活用した情報発信	1	I C T利活用観光・交流事業費	市ホームページの充実とポータルサ イトの統合について	高齢者、障害者が利用しやすいようバリアフリー化を図 る 観光トップページの魅力アップを図る 市内関連ポータルサイトの統合に向けた調査・検討を行 う
7	市民等への情報提供	4	広報紙「市民と市政」発行費、放送新 聞等広報費、市勢要覧発行費、メール マガジン発行費	ケーブルテレビを活用した広報活動 の充実について	市の施策事業について担当課職員が自らPRし、市民と一 緒に考えてもらう番組づくりを行う 市政番組をDVD化し、広く情報発信する
8	市民との対話	1	広聴事業費	わがまちトーク、ふれあいトークの 今後の進め方	平成23年度は分野・テーマ別のふれあいトークを行い、 平成24年度は総合計画の説明を含めた地区別のわがまち トークを行う

	レビューテーマ	事業数	事業名	協議事項	協議結果
9	男女平等・共同参画への取り組み	2	男女平等推進事業費、男女平等推進セン	男女平等推進プランの実践的実施について	男女平等推進プラン後期事業計画及びDV防止基本計画策定に取り組む 市民団体等のネットワークによるモデル事業の実施に努める
10	防災行政無線の整備	1	防災行政無線整備事業費	今後の整備方針について	屋外拡声子局未整備地区の解消を図るため、事業効果、地域バランス等を考慮し整備を行っていく 事業の実施にあたっては、適正な整備水準等の検討を行い、コストの縮減を図ること
11	新市誕生5周年記念事業	1	新市誕生5周年記念事業費	新市誕生5周年記念事業の実施について	合併5周年を契機とし、新たなまちづくりに向け、市民フォーラムを開催する
12	本丸会館の整備方針	1	本丸会館管理費	本丸会館敷地全体の利活用や施設整備の在り方、活用策について	平成22年10月末までの庁内ワーキングによる検討報告を受け、さらに検討を進める
13	地場産業センターの経営方針	3	高岡地域地場産業センター運営助成金、職業訓練センター管理委託事業費、勤労者福祉サービスセンター補助金	法人制度改革への取り組みと今後の経営方針について	法人制度改革への対応を進めるとともに、経営再生計画を策定（市からの運営費補助の削減も含めて）し、経営改善に取り組む
14	文化財修理技術の向上と産業化	1	文化財等修理事業費補助金	文化財修理技術の産業化に向けた取り組みについて	高岡のものづくりの技と心を活かした新産業分野の創出を目指し、文化財修理技術の1億円産業化を当面の目標に掲げ、文化財修理技術のレベルの高さを県外へPRする 高岡地域文化財等修理協会の組織強化を図る
15	企業誘致戦略	2	企業立地助成金、企業誘致推進事業費	平成23年度の取り組みについて	企業誘致庁内推進体制を強化し、企業誘致戦略に沿った積極的な企業訪問、説明会等の開催・出展、情報収集に努めるとともに、これらを今年度中に策定する産業振興ビジョンの中でも明確に打ち出しながら、成長産業をはじめとする企業誘致の推進を図る
16	新産業創造戦略	7	イベント等開催助成費、技術向上・情報化推進等委託事業費、企業交流交歓会開催事業費、中小企業経営支援事業費、産学官交流推進事業費、高岡市産業振興ビジョン策定事業費、新クラブ産業・デザイン育成支援事業費	新産業創造プラットフォームの平成23年度の取り組みについて	新産業創造プラットフォームの一層の充実を図り、企業訪問や関係機関との連携、大学や富山県ものづくり研究開発センター（仮称）の利用などにより、市内企業の新分野進出・新事業展開を推進する

	レビューテーマ	事業数	事業名	協議事項	協議結果
17	中心市街地活性化に向けた戦略	5	中心商店街活性化センター管理委託事業費、高岡駅前地下街にぎわい創出事業費、金屋町楽市開催事業費、中心商店街賑わい回帰支援事業費、オタヤ開発株式会社貸付金	平成23年度（現行計画最終年度）の取り組みと中心市街地活性化基本計画の新計画策定について	中心市街地の回遊性を高め、観光客等のまちなかへの誘客を中心市街地の活気に結びつけるため、中心市街地における空き店舗対策の拡充やイベントの充実を図る新たな中心市街地活性化基本計画（H24～）の策定に取り組む
18	観光施策の体系化と戦略的展開	7	観光宣伝事業費、広域観光事業費、たかおか観光戦略事業、広域観光圏事業費、高岡市観光協会補助事業費、高岡市観光協会委託事業費、広域観光プログラム事業費など	広域観光の推進方策について	広域的な越中・飛騨観光圏事業の展開との相乗効果を睨んで、戦略的な観光施策を展開する。地域振興につながる観光施策や広域的な誘客施策など、市の観光施策を体系化し、雑誌、電子メディア等による効果的な宣伝活動等を進める
19	コンベンション開催支援	1	高岡コンベンション開催支援事業費	コンベンション誘致体制の整備について	広域交流の創出、観光産業の育成の観点から、全国的な企業や全国組織の本市関係者等に対し、広く制度を周知するとともに、コンベンション会場・宿泊施設・視察ルートをセットにしたプランを提案するなど、サービスの充実を図りながら全国大会等の高岡市開催を働きかける
20	御車山会館の建設	1	御車山会館建設準備費	建設に向けた今後の取り組みについて	展示内容や整備手法、財源確保等の課題について、関係者の協力を得ながら検討を進め、平成23年度に基本設計を策定する 平成の御車山の製作については、市民全体の取り組みとして進められることを目指す
21	農業戦略	3	米消費拡大推進事業費、農林水産業振興プラン策定事業費、水田利活用市単独補助金	地域の特色を活かした園芸、特産物のブランド化の推進方策について	水稻中心の農業施策との整合に配慮しながら、麦・大豆等の戦略作物及び園芸作物、地域特産物の作付けの拡大を進め、特産物やその加工製品について、食事としての提供方法やシチュエーションまでをトータルで検討するなど、「食」のブランド化に向けた支援を行う
22	農業基盤の整備	2	市単農業土木事業費、県単農業土木事業費	農業用施設（用水等）の整備方針について	緊急度の高い箇所や老朽度合いを勘案しながら優先順位を付けて事業を進める
23	里山交流センターの活用	1	高岡市里山交流センター管理事業費	施設の有効活用について	「里山活性化協議会」と連携を図りながら、施設の有効活用に努める 西山歴史街道、里山再生など具体的なテーマに基づいた広域拠点施設としての活用策を検討する

	レビューテーマ	事業数	事業名	協議事項	協議結果
24	公共交通全体の取り組み方針	4	公共交通活性化事業費、万葉線再生事業費、中心市街地公共交通活性化事業費、公営バス運行管理費	平成23年度の取り組みについて	新幹線開業を見据えた二次交通網のあり方を念頭において、路線バス網の見直しや軌道系交通のあり方等について、庁内外の関係者によるワーキングチームを設置する住民主導型の地域バスの導入を図るとともに、地域の足として多様な地域公共交通のあり方の検討を進める
25	(仮称)高岡市市民交流スポーツ広場の整備方針について	2	地域振興施設整備調査事業費、(仮称)高岡市市民交流スポーツ広場整備事業費	平成23年度の取り組みについて	施設の機能等について地域住民や関係団体との協議を進め、基本設計・実施設計に取り組む
26	低炭素社会づくり事業の実施	1	低炭素化社会づくり事業費	低炭素社会のまちづくりの今後の取り組みについて	環境共生のライフスタイルの実現に向け、市民意識の啓発と市民活動の支援を進める
27	コミュニティ施設整備	1	3地区コミュニティ施設整備費	伏木・戸出地区コミュニティ施設整備の進捗状況について	施設内容・規模等について地元との協議を進め、基本的な調整・合意が整った段階で基本計画に着手する
28	地域総合福祉のあり方	5	社会福祉協議会運営費補助金、ボランティアのまちづくり事業費補助金、ふれあいのまちづくり事業費補助金、ふれあい福祉センター運営費補助事業費、地域総合福祉活動・ケアネット型等事業費	高岡らしい地域福祉ネットワークのあり方について	子育て支援、高齢者支援といった各福祉分野において、地域と連携しながら、より市民の生活スタイルにそったサービスを提供できるシステムの構築を目指す 「認知症高齢者見守りネットワーク」等を参考に、地域の人材等をコーディネートしながら地域の課題を解決する地域福祉ネットワークづくりを目指す

	レビューテーマ	事業数	事業名	協議事項	協議結果
29	社会福祉施設の管理運営	5	万葉社会福祉センター管理運営費補助金、ふれあい福祉センター管理委託事業費、社会福祉協議会委託事業費（たんぼぼ苑）、社会福祉協議会館管理運営費補助金、老人保養センター「百楽荘」管理委託事業費	社会福祉施設の老朽化への対応について	老朽化した施設については、スクラップアンドビルドの視点を入れながらあり方を検討する
30	民間保育所・幼稚園への支援	22	障害児保育事業補助金、心身障害児保育事業補助金、地域活動事業補助金、運営管理費補助金、児童災害共済補助金、施設改修費補助金、施設整備費借入金償還金補助金、保育所運営費補助金、休日保育事業補助金、夜間保育事業補助金、年度途中入所対策事業補助金、延長保育促進事業補助金、長時間延長保育促進基盤整備事業補助金、一時預かり事業補助金、すこやか保育推進事業補助金、職員管理研修費補助金、自園型病児・病後児保育事業補助金、耐震診断事業補助金、病後児保育事業補助金、和田保育園施設整備費補助金、国吉ちくば保育園施設整備費補助金、幼稚園保育料補助金	民間保育所・幼稚園への支援の考え方について	政府において平成25年度から予定されている幼稚園と保育所の「こども園」（仮称）への一体化について研究をすすめる すでに市内で実施されている幼保一元化についての成果と課題を整理する
31	子育て支援ネットワークの充実	4	ファミリー・サポート・センター事業費、児童ふれあい交流促進事業費、児童館・児童センター委託事業費、子育て支援センター整備事業費	様々な子育てに関する情報の提供など、地域と連携した子育て支援の充実について	子供・保護者の生活パターンを踏まえた高岡らしい子育て支援ネットワークの構築を図る 特に、福祉施策、教育施策といった区分にとらわれず、放課後をはじめ、1日を通じて子どもたちの暮らしをサポートするため、福祉部門と教育部門が連携した施策融合による子育て支援を実現する
32	子ども医療費助成	1	こども・妊産婦医療費助成事業費	今後の方針について	高岡市ならではの総合的な子育て支援の在り方を検討するなかで、医療費助成についても検討する
33	急患医療センターの充実	1	急患医療センター管理運営費	急患医療センターの充実にむけた今後の方向性について	広域的な役割が高まっていることから、今後の急患医療センターの機能拡充について高岡地区救急医療対策協議会で協議を進める

	レビューテーマ	事業数	事業名	協議事項	協議結果
34	新幹線開業に向けた道路整備	14	道路改良事業費（単独通常事業費）、道路改良事業費（合併関連道路整備事業費）、道路改良事業費（公共施設関連道路整備事業費）、道路改良事業費（国県補助事業関連単独費（特定地方道路整備事業））、道路改良事業費（高岡斎場関連道路整備事業費）、道路改良事業費（土地利用促進関連道路整備事業費）、交通安全施設整備事業費（地域活力基盤創造交付金事業費）、街路整備事業費（国県補助事業関連単独費（特定地方道路整備費））、地域活力基盤創造交付金事業費、能越自動車道活用調査費、道整備交付金事業費、まちづくり交付金事業費（木舟町大坪町一丁目線等）、まちづくり交付金事業費（下伏間江福田線）、まちづくり交付金事業費（福岡）	下伏間江福田線、中川和田線等幹線道路の整備について	新幹線の開業効果を最大限に活かすため、新幹線駅周辺から高速自動車道へのアクセス道路を中心に、新幹線開業に向けたタイムスケジュールとリンクした戦略的な道路網の整備進捗を図る
35	伏木外港の建設とポートセールスについて	2	伏木富山港振興団体負担金、港湾関係団体等負担金	平成23年度の取り組みについて	県、富山・射水両市と連携した県のポートセールス活動及び港湾関連企業の協力のもと船舶会社へのポートセールス活動を行う また、県等関係機関と連携して、日本海側の拠点港指定を目指す
36	福岡駅前土地区画整理事業	3	福岡駅前土地区画整理事業費（補助・単独）、組合施行土地区画整理事業費（戸出中之宮地区、中曽根地区）	事業の進捗状況について	年内の仮換地指定を目指し、事業の進捗を図る
37	歴史都市に向けた取り組み	2	歴史的風致維持向上計画推進事業費、文化財総合的把握モデル事業費	平成23年度の取り組みについて	今年度中に歴史的風致維持向上計画を策定し国の認定を受け、平成23年度は、計画に基づく歴史的風致を活かした関連事業を進める 併せて、金屋町の伝建地区指定に向けた取り組みや高岡城跡の国指定史跡を目指した調査などに取り組み、高岡の価値を一段と高めることを通じて、歴史都市としてのまちづくりを進める
38	北陸自動車道新ICの整備	1	北陸自動車道新IC整備事業費	平成23年度の取り組みについて	新ICへのアクセス道路部分に関する用地買収を目指す

	レビューテーマ	事業数	事業名	協議事項	協議結果
39	北陸新幹線と新駅周辺の整備	1	北陸新幹線対策事業費	平成23年度の取り組みについて	北陸新幹線の金沢までの開業に伴い、高岡の利用圏域となる飛越能86万人の玄関口にふさわしい都市機能を備えた新幹線駅を目指し、新駅駅舎1階公共スペースの実施設計、同駅周辺土地区画整理事業に係る仮換地指定、城端線新駅駅舎の実施設計等に取り組む 駐車場については、施設規模、事業手法等について方針を決定する 新幹線車両への地場産品活用を働きかけるなど、新幹線効果を活かした高岡のPR戦略を展開する 事業の実施にあたっては、適正な事業規模・整備水準、効率的な実施方法の検討を行い、コストの縮減を図ること
40	高岡駅周辺整備	1	高岡駅周辺地区整備事業費	平成23年度の取り組みについて	新幹線駅との有機的な連携により、広域的な都市機能を一層高めるため、南北自由通路・橋上駅舎の整備、人工デッキ・新ステーションビル・駅前広場等の実施設計等に取り組む 中心市街地と連結したにぎわい創出に向け、地下街閉鎖中の末広町等への導線確保と今後の地下街の整備ビジョンについて関係者との協議を進める 事業の実施にあたっては、適正な事業規模・整備水準、効率的な実施方法の検討を行い、コストの縮減を図ること
41	福岡中央地区まちづくり	1	福岡中央地区まちづくり推進事業費	事業の進捗状況等について	土地区画整理事業を契機に、都市基盤の整備を進め、まちのにぎわいを再生するため、都市再生整備計画に基づく事業の進捗を図り、自然・歴史・環境など地域の特色を生かしたまちづくりに取り組む
42	高機能消防指令センターの整備	1	N高機能消防指令センター整備事業費	消防緊急通信指令システムの更新整備について	今年度策定する実施設計に基づき、平成23年度は整備を行う 整備にあたっては、適正な整備水準等の検討を行い、コストの縮減を図ること

	レビューテーマ	事業数	事業名	協議事項	協議結果
43	荻布学生寮のあり方	1	荻布学生寮運営費補助金	施設のあり方について	公益法人化への移行や財団の自立的運営を促しながら、安定的な経営に向けて支援を行う 施設のあり方については、財団と関係者における検討協議状況を踏まえながら、市としての対応を検討する
44	小学校の適正規模・適正配置の検討	1	学校適正配置検討事業費	平成23年度の取り組みについて	地区協議会において、学校適正規模・適正配置について検討・協議し、意見集約を行う また、地域の将来像も見据えた議論となるよう、地域特性等に着眼したモデルをケーススタディとして示し、地域がイメージを共有しながら議論できる環境を整える
45	ものづくり・デザイン科について	1	ものづくり・デザイン科推進事業費	今後の展開について	平成21年度～23年度の取り組みの成果と今後の課題についてまとめ、文部科学省へ報告するとともに、「教育課程特例校」の継続申請を行う
46	西条公民館の整備	1	西条公民館整備調査事業費	整備スケジュールについて	平成23年度に用地取得、基本設計、実施設計を実施し、平成24年度の着工を目指す
47	世界文化遺産登録に向けた取り組み	1	世界文化遺産登録推進事業費	平成23年度の取り組みについて	課題となっている主題設定や資産構成の検討を進める 高岡城跡詳細調査事業、勝興寺保存修理事業、金屋町重要伝統的建造物群保存地区への保存対策調査に取り組み、高岡の資産価値の向上を目指す 高岡御車山の世界無形文化遺産登録に取り組み
48	総合グラウンドの整備	1	総合グラウンド整備事業費	整備スケジュールについて	平成23年度は実施設計、埋蔵文化財本調査、関係機関・団体との協議を行い、平成24年度着工、平成26年度末完成を目指す 事業の実施にあたっては、適正な事業規模・整備水準、効率的な実施方法の検討を行い、コストの縮減を図ること

計128